

みずほCustomer Desk Report 2018/05/25号 (As of 2018/05/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.71 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.89	1.1709	128.68	1.3371	0.7566
SYD-NY High	110.09	1.1751	128.86	1.3422	0.7583
SYD-NY Low	108.96	1.1691	127.73	1.3351	0.7542
NY 5:00 PM	109.25	1.1721	128.05	1.3383	0.7578
NY DOW	24,811.76	▲ 75.05	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,424.43	▲ 1.53	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,727.76	▲ 5.53	米国2年債	2.5101	▲ 2.01bp
日経平均	22,437.01	▲ 252.73	米国5年債	2.8133	▲ 1.08bp
TOPIX	1,775.65	▲ 21.66	米国10年債	2.9761	▲ 1.64bp
ソコ日経先物	22,320	▲ 300.00	独10年債	0.4675	▲ 3.60bp
ロンドンFT	7,716.74	▲ 71.70	英10年債	1.3995	▲ 3.75bp
DAX	12,855.09	▲ 121.75	豪10年債	2.7965	▲ 4.50bp
ハンセン指数	30,760.41	94.77	USDJPY 1M Vol	7.40	0.15%
上海総合	3,154.65	▲ 14.31	USDJPY 3M Vol	7.55	0.13%
NY金	1,304.40	14.80	USDJPY 6M Vol	7.98	0.08%
WTI	70.71	▲ 1.13	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	205.66	▲ 0.71	EURJPY 3M Vol	8.43	0.25%
ドルインデックス	93.76	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	8.65	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月24日	15:00	独 GDP(季調済・前期比)	1Q 0.3%	0.3%
	15:00	独 GfK消費者信頼感	6月 10.7	10.8
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 234k	220k
5月25日	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 5.46m	5.55m
	03:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演「米利上げサイクル、来年終了の可能性」		
	-	米 トランプ大統領 演説「米朝首脳会談の中止を通告」		

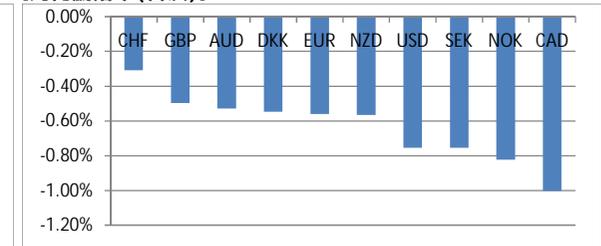
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	5月 102.0	102.1
	17:30	英 GBP(前期比 / 前年比)	1Q 0.1% / 1.2%	0.1% / 1.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	4月 -1.3%	2.6%
5月26日	22:20	米 パウエルFRB議長講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者態度指数	5月 98.8	98.8
	00:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 / エバンス・シカゴ連銀総裁 / ポスティック・アトランタ連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD / JPY	EUR / USD	EUR / JPY
想定レンジ	108.40 - 109.90	1.1650 - 1.1800	127.00 - 129.00

【マーケットインプレッション】

昨日は米国発のトピックスを受けドル/円は下落。トランプ大統領の指示を受けて安全保障を理由に米通商拡大法232条に基づく調査を開始したと発表、一部報道では輸入車に25%の関税を課すことも検討していると報じられている。加えて、海外時間には、トランプ大統領が北朝鮮との来月の会談を中止することを明らかにしている。一連の報道により、リスク回避の地合いが強まり、株式市場は総じて軟調な展開となった。昨日はドル/円も一時109円を割れる展開となっている。本日は相場を動意付かせるトピックスに乏しいが、アメリカが会談中止を発表した後の北朝鮮の動向には注意が必要。ドル/円の動きとしては、リスク回避の動きが優勢となる中で上値の重い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は109.89レベルでオープン。朝方、トランプ大統領の指示を受けて、米商務省が自動車・トラック・部品輸入を巡り、米通商拡大法232条に基づく調査の開始を発表、外国車の輸入が米国の安全保障に影響するかどうか判断する意向を示した。また、一部報道では輸入車に25%の関税を課すことを検討していると報じられたこともあり、通商摩擦懸念の再燃にリスク回避の円買いが進行。午後には日経平均が300円超下げるなど、軟調な株式市場を背景に一時109.33まで下落した。一巡後は低下していた米金利が反発するなか、次第に値を戻し109.49レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.49レベルでオープン。米10年国債金利が再び3%台に上昇するにつれて一時109.76まで上昇し109.61レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1710レベルでオープン。午後には欧州中央銀行の4月会合議事録が公表されることもありボジションを手じまう動きから1.1746まで買い戻される局面もあったが、その後は伸び悩み1.1714レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3359レベルでオープン。朝方、英4月小売売上高が市場予想を上回ったことを受け一時1.3422まで買われたが、利益確定の動きから1.3403レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は109.61レベルでNYオープン。朝方は新規失業保険申請件数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的。トランプ大統領が北朝鮮との来月の会談を中止することを明らかにしたことからドル売りが強まり、リスク回避の円買いも持ち込まれ、米4月中古住宅販売件数が予想を下回ったこともあり、安値108.96まで下落する。このレベルではドル買い意欲もあり、またトランプ大統領が条件を整えば北朝鮮との会談が実施される可能性も示唆したこともあり、109.37まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、109.25レベルでクロスした。一方、海外市場で安値1.1691まで下落したユーロドルは、ECB議事録発表を控え1.1746まで戻すが上値は重く、1.1714レベルでNYオープン。朝方は米朝首脳会談が中止になったことからドル売りが優勢となり、ユーロドルは高値1.1751まで戻す。しかし状況によっては米朝首脳会談が開催される可能性が示唆されたことからドルが買い戻される展開に、1.1717まで反落。午後は方向感の無い推移が続き、1.1721レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。